

〈定期体験教室のお知らせ〉

まゆ 山鹿の繭を使ったマスクづくり①・②

県立装飾古墳館では定期体験教室「山鹿の繭を使ったマスクづくり」を下記のとおり開催します。

絹の生産は、今から5000年前には既に中国で行われていたと考えられています。日本には2000年前頃（弥生時代）にその製法が伝わったものの、品質はあまりよいとは言えず、またその後の戦乱の影響で生産そのものが衰退しました。しかし、江戸時代に幕府が貿易赤字是正のため、諸藩に絹の生産を奨励したことなどから、絹の品質は日本の重要な輸出品になるほど改善されました。明治以降には養蚕業は日本の近代化を支える基幹産業となりましたが、戦後次第に衰退していきました。

熊本県では明治から昭和初期にかけて養蚕が盛んに行われました。装飾古墳館があるここ山鹿市でも、非常に盛んに行われており、当時旧豊前街道沿いには呉服の大手も軒を連ねていました。

今回の体験教室では、地元山鹿で織姫伝承塾を主宰されている古閑直子先生の御指導の下、繭から蚕を煮出した後、引き伸ばして作った真綿を入れてマスクを作る体験をします。この機会に、養蚕の歴史に思いを馳せるとともに、蚕と絹の魅力に触れてみませんか。

なお、参加には事前予約が必要です。お問い合わせ及びお申込みは、下記の連絡先までお願いします。

記

- 1 期日・内容 ※2回セットでの御参加をお願いします
 - (1) 第1回
 - ア 期日 平成30年2月24日(土)
 - イ 内容 繭から蚕を煮出します。また、マスクづくりの下準備をします。
 - (2) 第2回
 - ア 期日 平成30年3月3日(土)
 - イ 内容 真綿にした繭をマスクに入れます。
- 2 体験時間 10:00~12:00(受付9:30~) ※両日とも
- 3 場所 熊本県立装飾古墳館 体験学習室
- 4 材料費 500円/個
- 5 定員 30名
- 6 推奨学年 小学校5年生以上
- 7 日程
 - (1) 受付 9:30~10:00
 - (2) 開会・日程説明 10:00~10:10
 - (3) 解説 10:10~10:30
 - (4) 体験活動 10:30~12:00 ※休憩を含む
 - (5) 諸連絡・解散 12:00
- 8 準備物 特になし
- 9 申込期間 平成30年1月5日(金)から1月31日(水)まで
※ 月曜日は休館日のため受付はできません。
- 10 その他
 - (1) 児童生徒の場合、原則として保護者同伴での御参加となります。
 - (2) 申し込み後の変更やキャンセルの場合は必ず御連絡ください。
 - (3) 館内の御見学には、別途入館料が必要です(高校生以下は無料)。

【御連絡先】

熊本県立装飾古墳館
山鹿市鹿央町岩原3085番地
TEL: 0968-36-2151 FAX: 0968-36-2120
HP: <http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

